

ChugaiRo

第78期

2019年4月1日 - 2019年9月30日

中間報告書



Energy



*Information/
Communications*



Environment

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、2019年9月30日をもって第78期事業年度（2020年3月期）の第2四半期を終了しましたので、その業績の概況をご報告申し上げます。

■ 事業環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかし米中貿易摩擦の長期化や中国景気の減速などで、輸出や生産が弱含みとなり、製造業を中心に企業の業況判断に慎重さが増すなど、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの関連する市場のうち、鉄鋼業界では鋼材需要の減少と鋼材市況の急速な悪化を背景に設備投資圧縮の動きが見られました。自動車業界においても、中国をはじめとして、世界規模で生産台数が減少する中、設備投資に慎重な態度が広がりました。一方、ディスプレイ業界では、高級スマートフォンの有機ELシフトがさらに進んだものの、中小型フレキシブル有機ELパネル市場の需要停滞により、一部に設備導入時期の先送りが発生しました。

■ 営業の概況について

このような経営環境のもと、当社グループは業績確保に向けて積極的な受注活動を展開した結果、中国向けステンレス製造設備や中国向けフレキシブルディスプレイ関連精密塗工装置などの成約を得ましたが、前年同期のような大型案件が少なく、受注高は前年同期比 52.7% の 12,385 百万円に留まりました。

売上面につきましては、銅ストリップ連続焼鈍ラインや鉄鋼向け省エネ型加熱炉などの工事が進捗し、売上高は前年同期比 119.6% の 17,662 百万円となりました。

利益面につきましては、増収効果により、営業利益 777 百万円（前年同期は 92 百万円の損失）、経常利益 876 百万円（前年同期は 6 百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益 616 百万円（前年同期は 20 百万円の損失）と損益は大きく改善しました。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年11月



代表取締役社長

西本 雄二

分野別の概況

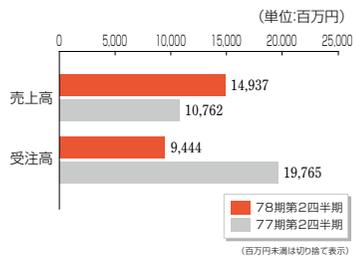


エネルギー分野 Energy

第2四半期連結売上高14,937百万円(前年同期比138.8%)

受注面では、中国向けステンレス製造設備や台湾向け省エネ型鉄鋼加熱炉のほか、自動車部品熱処理設備などの成約を得ましたが、前年同期のような大型案件が少なく、受注高は9,444百万円(前年同期比47.8%)に留まりました。

一方、売上面では、自動車部品熱処理設備を納入したほか、銅ストリップ連続焼鈍ラインや鉄鋼向け省エネ型加熱炉、金属ストリップ連続ゴムコーティングラインや高級特殊鋼板連続焼鈍ラインなどの工事が進捗し、売上高は14,937百万円(前年同期比138.8%)と増加しました。

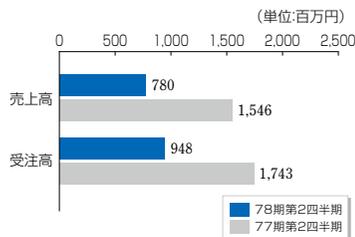


情報・通信分野 Information / Communications

第2四半期連結売上高780百万円(前年同期比50.5%)

受注面では、中国向けフレキシブルディスプレイ関連精密塗工装置などの成約を得ましたが、投資時期の先送りが続き、受注高は948百万円(前年同期比54.4%)に留まりました。

売上面では、ベトナム向け薄板ガラス用熱処理設備改造工事や国内向けフレキシブルディスプレイ関連オープンなどの工事が進捗しましたが、期初受注残高が少なかったこともあり、売上高は780百万円(前年同期比50.5%)に留まりました。

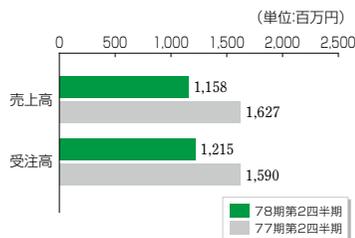


環境保全分野 Environment

第2四半期連結売上高1,158百万円(前年同期比71.2%)

受注面では、蓄熱式排ガス処理装置のほか、活性コークス用ロータリーキルンなどの成約を得て、受注高は1,215百万円(前年同期比76.4%)となりました。

売上面では、蓄熱式排ガス処理装置や活性炭用ロータリーキルンなどを納入し、売上高は1,158百万円(前年同期比71.2%)となりました。



その他 Others

第2四半期連結売上高1,851百万円(前年同期比106.2%)

受注面では、海外子会社において、中国向けステンレス製造設備用機器や蓄熱式排ガス処理装置などの成約を得て1,835百万円(前年同期比124.7%)と増加しました。

売上面では、中国向け自動車部品用熱処理設備などを納入し、売上高は1,851百万円(前年同期比106.2%)と増加いたしました。

注)セグメント別の受注高及び売上高は、セグメント間取引相殺消去前の金額によっております。

エネルギーの有効活用 ENERGY

熱処理工場のスマート化に貢献

当社は、2019年度上半期も堅調な自動車や建機、航空機関連の機械部品メーカーの増産投資に対応し、バッチ式ガス浸炭炉「新型ハイ・シフター®」や連続ガス浸炭炉の新規設備、さらにメンテナンス体制を拡充して既設炉のオーバーホール、IoT化・省エネ化改造工事などを多数受注することができました。

近年は、あらゆる産業においてインダストリー4.0に向けた取り組みが求められています。2000年代のネットワークシステムの黎明期より、リモートメンテナンスシステムの開発に挑戦し、実績を積み重ねてきた当社では、近未来の熱処理プロセスを見据えたICT技術の開発を鋭意推進中です。これからもお客様の熱処理工場のスマート化、無人化へ向けて先進の最適ITソリューションを提案し、全力でサポートしてまいります。



メンテナンスのサブスクリプションサービスを開始

2019年秋から、当社の汎用熱処理炉「ハイ・シフター®」を対象としたサブスクリプションサービス(定額メンテナンスプラン)を開始しました。内容としては3年間のアフターメンテナンス、推奨予備品一式、無料点検・相談をパッケージとし、お客様にはウェアラブルグラスを配布。もし納入設備に不具合が発生した場合は、お客様のリアルタイム情報を当社も共有させていただき、双方向の対話を通じて早期解決を図ります。オプションとして納入設備のIoT機能を追加いただくことにより、さらに精緻な予防保全を行うことも可能となります。今後、順次対象機種やサービス範囲を拡充していく予定です。

工業炉・関連機器の専門展示会「サーマルテクノロジー2019」で、当社技術をご紹介

2019年10月17日(木)～18日(金)にグランフロント大阪で、一般社団法人日本工業炉協会が主催された第4回工業炉・関連機器展「サーマルテクノロジー2019」に出展いたしました。お客様の多様化するニーズにお応えすべく、さらにバリエーションを充実させた真空浸炭炉や、環境に配慮した次世代バーナなど最新の工業炉、燃焼機器、さらにIoTや自動化システムといった最新のテーマに関しても幅広くご紹介し、当社の提案する設備・機器が世の中のどのような最終製品に使われているかを分かりやすく理解していただける展示を行い、多数のお客様にお越し頂きました。

合わせて製品・技術発表会の会場では、当社エンジニアから「多様化する真空浸炭設備(FALCONシリーズ)」・「水素社会に対応する工業炉・熱技術」という2テーマでプレゼンテーションも実施しました。当社は熱技術の総合エンジニアリング企業として、今後ともお客様に最適な新商品・新技術の開発を進めてまいります。



当社ブース外観(上)
来場者に説明する社員(左)

エネルギーの有効活用 ENERGY

中国大手向けステンレス製造設備を受注

中国では2000年代に入り、急速な経済の発展によってステンレスの需要が急増し、それに合わせて既存事業者を中心に生産を拡大させてきました。中国鉄鋼業は、統合再編を積極的に進めており、国有大手を中心に高付加価値商品の生産に注力しておられます。その中で、内需が縮小する将来に備えて、国際市場で事業を展開する大手ステンレスメーカーは、中国政府が取り組む新シルクロード経済圏構想「一帯一路」に合致することから、政府の支援を得やすいとも言われております。

当社では、中国顧客の設備増強の動きに対し、実績豊富な省エネ型のステンレス連続光輝焼鈍ラインを提案し、2019年4月に受注いたしました。現在、2020年末の完成を目指して鋭意設計を進めております。



ステンレス連続光輝焼鈍ライン

2005年以降、ステンレス粗鋼の生産量および見掛け消費量は拡大傾向が続く



出典：中国特鋼企業協会ステンレス分会（中国特钢企业协会不锈钢分会、Stainless Steel Council of China Special Steel Enterprises Association）、国家統計局



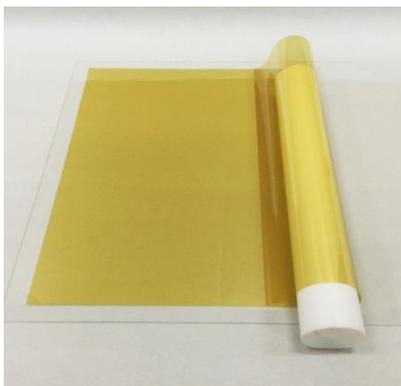
中国向けフレキシブル有機EL基板用G6量産装置を受注

2017、2018年に引き続き、中国の中小型ディスプレイパネルメーカ大手が建設するフレキシブル有機EL（OLED）パネルの工場向けに、第6世代（G6）の基板（1850×1500ミリ）で月産約1.5万枚のパネルを大量生産する「精密塗工システム」を受注いたしました。本装置は、2020年春に納入する予定です。

当社はポリイミド樹脂の持つ優れた耐熱性に着目し、2006年にプラズマパネル量産装置で培った高粘度・厚膜塗工の独自技術を活かした研究開発用塗工装置の1号機を納入いたしました。以後、日本・韓国・台湾・中国の主要パネルメーカへ高精細塗工装置を主体に、真空・乾燥装置や乾燥装置、クリーンオープン、搬送ロボットなどをパッケージとしたパイロットラインや量産ラインを多数納入し、顧客ニーズに応じた改良・改善を重ねてまいりました。



精密塗工システム



はく離したポリイミドフィルム

この結果、当社が装置を納入した国内最大手パネルメーカが2018年より、同じく中国最大手パネルメーカが2019年より本格的な量産を開始し、フレキシブルOLEDパネルを搭載したスマートフォンが市場に投入されました。これらの当社実績と技術力が高く評価され、今回の成約に至ったものです。本件に引き続き、中国の主要パネルメーカ数社とも新工場投資の商談を継続しており、今年度に連続して受注を獲得すべく最善の努力を重ねております。



フォルダブルフォン(イメージ)

■ 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期累計期間 2018年4月1日から2018年9月30日まで	当第2四半期累計期間 2019年4月1日から2019年9月30日まで
	売上高		14,769
売上原価		12,768	14,706
販売費及び一般管理費		2,093	2,177
営業利益又は営業損失(△)		△92	777
営業外収益		128	132
(受取配当金)		(86)	(86)
(雑収入)		(42)	(45)
営業外費用		30	34
(支払利息)		(15)	(22)
(雑損失)		(14)	(11)
経常利益		6	876
特別利益		—	—
特別損失		—	—
税金等調整前四半期純利益		6	876
法人税等		25	233
非支配株主に帰属する四半期純利益		0	26
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)		△20	616

■ 四半期連結要約キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前第2四半期累計期間 2018年4月1日から2018年9月30日まで	当第2四半期累計期間 2019年4月1日から2019年9月30日まで
	営業活動によるキャッシュ・フロー		1,970
投資活動によるキャッシュ・フロー		△283	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー		△332	5,719
現金及び現金同等物に係る換算差額		△29	△14
現金及び現金同等物の増減額		1,324	955
現金及び現金同等物の期首残高		6,724	5,137
現金及び現金同等物の四半期末残高		8,049	6,092

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の概況 (2019年9月30日現在)



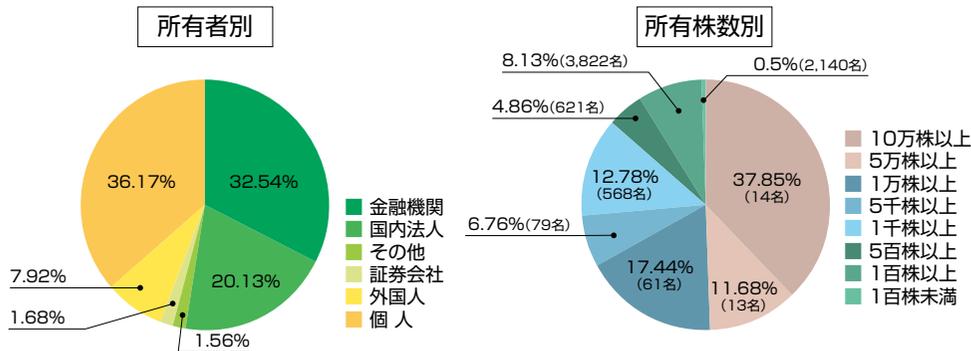
- 発行可能株式総数 25,000,000株
- 発行済株式の総数 7,800,000株 (自己株式121,642株を含む)
- 株主数 7,319名
- 大株主 (上位10名)

(千株未満は切り捨てて表示)

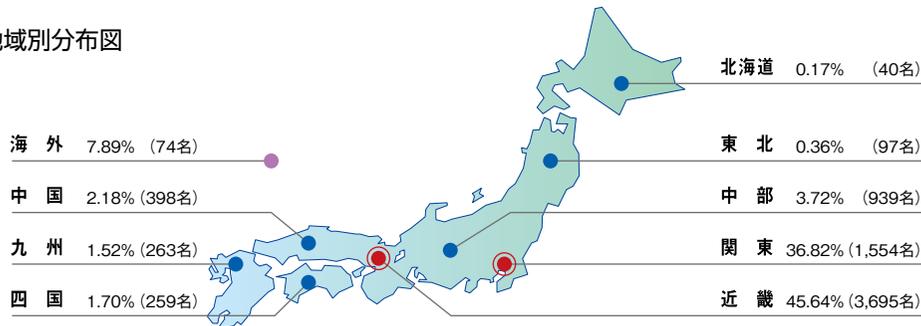
株主名	持株数	特殊比率
第一生命保険株式会社	464 千株	6.04 %
株式会社りそな銀行	380	4.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	264	3.45
中外炉工業関連企業持株会	255	3.32
株式会社みずほ銀行	189	2.47
三菱商事株式会社	179	2.34
株式会社銭高組	175	2.28
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST. BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS. UNITED KINGDOM	153	2.00
日本生命保険相互会社	149	1.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	138	1.81

注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株式分布状況



地域別分布図



会社概要 (2019年9月30日現在)



会社名	中外炉工業株式会社 Chugai Ro Co., Ltd.
設立	1945年4月
資本金	61億7,672万円
従業員	481名(連結 741名)
本社	〒541-0046 大阪市中央区平野町3丁目6番1号(あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル) TEL (06) 6221-1251(代表) FAX (06) 6221-1411
堺事業所	〒592-8331 堺市西区築港新町2丁4番 TEL (072) 247-2501(代表) FAX (072) 247-2508
堺センター 東京支社	〒592-8332 堺市西区石津西町94番地7 〒108-0075 東京都港区港南2丁目5番7号(港南ビル) TEL (03) 5783-3360(代表) FAX (03) 5783-3368
名古屋営業所	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1丁目21番19号(名駅サウスサイドスクエア) TEL (052) 561-3561(代表) FAX (052) 561-3566
燃焼研究所	〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000番地6 TEL (072) 977-8503(代表) FAX (072) 978-6981
小倉工場	〒803-0802 北九州市小倉北区東港2丁目2番1号 TEL (093) 571-5788(代表) FAX (093) 571-6268
海外子会社	台湾:高雄市 中国:上海市 タイ:バンコク市 インドネシア:ジャカルタ市 メキシコ:アグアスカリエンテス市

役員

代表取締役社長	西本 雄二
常務取締役	南場 賢一郎
取締役 役員 常務執行役員	藤田 和久
取締役 役員 常務執行役員	根来 茂樹
取締役 役員 常務執行役員	尾崎 彰
取締役 役員	新谷 昌徳
取締役 役員	阪田 守
取締役	野村 正朗
取締役	佐藤 良
常勤監査役	池山 郁也
監査役	碩 省三
監査役	ポール・チェン



常務執行役員	長濱 満
執行役員	池田 勇
執行役員	真柄 恒彦
執行役員	阪本 佳史
執行役員	桜井 裕二
執行役員	城月 照憲
執行役員	今上 雅司
執行役員	木本 康之

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月に開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 制度なし

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1丁目4番1号

特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 〒168-0063

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)  **0120-782-031** (フリーダイヤル)

取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

【住所変更、单元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

单元株式数 100株

会計監査人 PwC京都監査法人

上場証券取引所 東京証券取引所

公告方法 電子公告

公告掲載のホームページアドレス

https://chugai.co.jp/ir_koukoku/



 **中外炉工業株式会社**

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-6-1

TEL 06-6221-1251 (代表)

<https://chugai.co.jp>